



国際英語

について調べる



★ 関連授業科目

英語・実践英語

文・法・経学部
第1・2セメスター

「Paste (はすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「国際英語」とは？

近年、よく「英語」、「国際化」、「グローバル化」などの言葉をよく耳にしますが、具体的にどのようなのでしょうか？現在、世界に英語話者は20億人いるとされています。しかし、その中で英語の母語話者、つまり英語の“ネイティブスピーカー”は3億人程度しかいません。これは、他の言語には見られない英語の特徴です。このような特徴を持つ英語が実際に世界でどのように使用されているのか、また私達はどのような英語を学ばばいいのか等について研究する分野です。

1-2. 学習するにあたってのポイント

世の中には“ネイティブスピーカー”という単語が溢れかえっています。英語を習うなら英語のネイティブスピーカーから。ネイティブスピーカーとのマンツーマンレッスン。ネイティブに伝わる英語。ネイティブの発音。挙げればきりがありません。これらをふと立ち止まって、考えらえるようになれば学習効果があったと言えると思います。また、この Paste ではこれは読んでおいてほしい日本語の文献をメインに選択しましたが、国際英語の分野だけでなく、英語教育学や応用言語学の分野の主要な文献のほとんどは英語で書かれていますので、出来るだけ早い段階から英語の文献を読んで慣れておくことを強くおすすめします。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ [武器としてのことば：茶の間の国際情報学 / 鈴木孝夫著](#)

【書誌 ID= 2003029190】 [総合図書館 A 棟 4 階 804/SUZ](#)

社会言語学者として有名な鈴木氏の名著。日本でいち早く国際英語の概念について言及した書物の1つであり、世界的にもこの時期にすでに国際英語について言及している文献は少ないです。出版されたのは1985年とかなり古い著書で、現在と時代はかなり違うが概念的には今でも通用するところが多いので是非読んで下さい。

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

■ [World Englishes : Implications for international communication and English language teaching / Andy Kirkpatrick](#)

【書誌 ID= 2004156260】 [外国学図書館 開架閲覧室 2 階 830.7/580](#)

本書のタイトルとして用いられている単語 Englishes(English の複数形)は世界には様々な種類の英語があるということを表しています。この本では、世界をいくつかの地域に分け、その地域でどのように英語が使われているかを説明しています。

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ [スペシャリストによる英語教育の理論と応用 / 小寺茂明, 吉田晴世編著 ; 金谷憲 \[ほか\]](#)

【書誌 ID= 2004080296】 [外国学図書館 開架閲覧室 2階 830.7/520](#)

この本の2章に国際英語についてのチャプターがあります。このチャプターは国際英語の大きな二つのパラダイムである EIL (English as an International language)と WE (World Englishes)を初学者にもわかりやすいように説明しており、後半には“日本英語”に関する考えや国際英語教育の実践が述べられています。

■ [アジアの英語 / 本名信行編](#)

【書誌 ID= 2002578494】 [総合図書館 A棟 3階, 4階 830./HON](#)

タイトル通りアジア各国の英語について外観している。具体的には、シンガポール、韓国、台湾、中国、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、インド、ミャンマー、日本の英語について具体例を豊富に説明しています。

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

■ [World Englishes \(http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/\(ISSN\)1467-971X\)](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1467-971X)

【電子ジャーナル ISSN= 0883-2919】

国際英語の学問分野で最も権威のある国際ジャーナルです。もちろん、全て英語で書かれており、専門的なので、読み始めるのは上記の最初に読むべき本を読んで基礎知識を得てからのの方が良いでしょう。

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ [Readings in English as an international language/ed.by Larry E. Smith](#)

【書誌 ID = 2003783790】 [外国学図書館 開架閲覧室 2階 830.7/208](#)

この本の中の English as an international auxiliary language のチャプターを読んで見て下さい。EIL の創始者である Larry Smith の 1976 年の論文が載っています。

■ [The phonology of English as an international language: New model, new norms, new goals](#)

【書誌 ID= 2003434977】 [総合図-A棟 3/4階 学習用図書 831/JEN](#)

国際英語の重要な概念の1つに ELF (English as a lingua franca) というのが存在します。簡単に言えば、英語が非母語話者同士の共通語として使われているということです。この本では、英語が ELF として使用される場合の発音に絞って議論した著書です。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: 国際英語
- ◆ 関連キーワード: 国際英語 (English as an International Language), 世界英語 (World Englishes)
- ◆ 補助キーワード: 日本英語 (Japanese English)

3-2. 二次資料類: 検索サイト・書誌索引

■ [大阪大学 Discovery Service](#)

阪大で論文や電子書籍を利用したいときに、これを使えば阪大で利用できるリソース全てを検索してくれます。

■ [Webcat Plus \(http://webcatplus.nii.ac.jp/\)](http://webcatplus.nii.ac.jp/)

阪大で検索が引っかけからなければ、これを使って日本の大学図書館等が所蔵している資料を連想検索で検索することができます。

■ [CiNii \(http://ci.nii.ac.jp/\)](http://ci.nii.ac.jp/)

日本の学会誌・紀要等に発表された論文を検索することができます。(ただし、英語教育の分野の主要な文献のほとんどが英語で書かれていますので、日本語の文献を読む機会は少ないです。)

■ [Google scholar \(http://scholar.google.co.jp/\)](http://scholar.google.co.jp/)

分野や発行元を問わず、学術出版社、専門学会、プレプリント管理機関、大学、およびその他の学術団体の学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索できます。

3-4. レポート・論文の書き方、学び方、引用・参考文献の書き方

■ [Purdue University Online Writing Lab \(https://owl.english.purdue.edu/owl/resource/560/01/\)](https://owl.english.purdue.edu/owl/resource/560/01/)

応用言語学、英語教育学で広く用いられている論文の書き方である APA Style がわかりやすく説明されています。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

